

目的:心の安らぎを感じる「ふるさと」作り ←…… 整備による豊かな自然「環境林・文化林」の再生  
 モットー:「安全に」、「楽しく」、「根気よく」  
 運営会議: 2ヶ月に一回 公園会議室で 活動内容を検討、決定……議事録、活動報告は全員に配布  
 メンバー: エコウイングあかし(L・SL+地球環境課)、緑地公園課、金ヶ崎コミュニティ協会

09年度計画概要

- ・HARD 本格的な継続した整備を行う……主に竹の伐採 Aゾーン(北浦池西側) 定例 月1回(第1土曜日)  
 メンバーは立上げ講演会参加市民、EW会員(09年度から全員EW会員に)  
 7月頃、必要なら再度市民募集→勉強会→整備を行う  
 この時期にAゾーン再度、C、Dゾーンの植生調査を実施  
 下期、LP.9にもある水辺ゾーンの現状、問題点、今後の方向性のまとめ
- ・SOFT 途中(下期?)から学習会、観察会、各種イベントを企画……推進は整備とは別のリーダーで

10年度計画概要

- ・HARD C、Dゾーンを中心に整備  
 Aゾーンも植生調査、継続的竹伐採、隣接する個人所有者土地の整備(事前交渉で了解をもらってから)  
 水辺ゾーンの整備方向を関係者で協議、決定し実行していく
- ・SOFT 学習会、観察会、各種イベントを定例的、継続的に企画運営

月	LP.9 HARD			LP.9 SOFT	参考)環境体験学習 自然観察、森の探検
	整備(第1土曜日)	植生調査・勉強会	水辺対応		
4	4月5日(4日搬入) 炭焼き立会い	活動告知の立て看板 目的:理解と注意(いたづらなど)			地域の幼稚園、小学校の 環境学習の場として活用 …森の探偵団がサポート (魚小は丸谷さんも協力)
5	5月2日 第1土曜日……定期的活動日 作業だけではなく昼食時の汁炊き出しや SOFTのイベントも組み合わせながら				・幼稚園 年間2、3回ほど 森(自然)の中で遊ぶ ・小学校 年間5回ほど 森を感じ、自然の不思議さに 触れ、観察調べる →命の繋がりを知る  *保護者も巻き込んでの 地域のサポート体制作りがポイント
6	6月6日 竹炭: エコ炭銀行と連携で実施 竹炭研修会にも参加  明石高専・神田先生が炭焼き機導入 竹の提供や共同作業も 川などの浄化実験をされるとのこと …今後色々な協力関係の可能性も		ホタル観賞(関係者のみ)		
7	7月4日 Aの奥とC、Dゾーン調査(黒田先生協力依頼)			09年上期中 早めに立上げ ・推進メンバー選出 ・企画内容、日程などまとめ ・イベント案内、開催	
8	8月1日 夏場はやぶ蚊、熱中症等要注意!! →活動内容も検討  (案)散策道の整備、木の名札付け			(検討イベント) 野鳥観察会、ネイチャーゲーム 自然学習会、クラフト作り ツリークライミングなど色々	
9	9月5日 状況を見て市民募集……この場合、初めに勉強会が必要			四季折々の公園の自然紹介 →クイズ形式で →公園入口に掲示板設置	
10	10月3日 第1土曜日……定期的活動日		現状調査 調査箇所、内容、 一部東播磨の貴重なビオトープとして整備途中		
11	11月7日 (案)囲いを作り、落葉、馬糞でカブトの床作り		場所別に調査、問題点、改善方向 池から上 池 途中の水路 最後の5段池 北浦池	落葉、どんぐり工作?	
12	12月5日 Aゾーン終了すればC、Dゾーンへ				
H20 1月	第1土曜日休み	ABゾーン間の個人所有者土地 →活動内容説明、竹整備の許可		野鳥観察会	
2	2月6日		次年度からの活動に向け 運営委員会で検討、まとめ		
3	3月6日				